

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年5月15日
【四半期会計期間】	第50期第1四半期（自平成26年1月1日至平成26年3月31日）
【会社名】	不二精機株式会社
【英訳名】	FUJI SEIKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊井 剛
【本店の所在の場所】	大阪市生野区巽東四丁目4番37号
【電話番号】	06(4306)6820(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 山本 幸司
【最寄りの連絡場所】	大阪市生野区巽東四丁目4番37号
【電話番号】	06(4306)6820(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役 山本 幸司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第49期 第1四半期連結 累計期間	第50期 第1四半期連結 累計期間	第49期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 3月31日	自平成26年 1月1日 至平成26年 3月31日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (千円)	1,098,335	1,136,454	4,718,923
経常利益又は経常損失 () (千円)	52,746	85,421	31,560
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失 () (千円)	47,234	53,683	41,944
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	224,719	85,388	463,492
純資産額 (千円)	1,004,103	1,331,253	1,389,052
総資産額 (千円)	5,944,949	6,204,078	6,325,603
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額 () (円)	6.94	6.36	5.67
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	5.65
自己資本比率 (%)	16.9	21.4	22.0

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第49期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 第50期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融・経済政策を背景に景気は回復基調にあるものの、海外景気の下振れリスクやエネルギーコストの上昇など懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期スロ・ガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「見える化」をはじめとする日々の業務の改善活動に取り組んでおります。

このような結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比38百万円（3.5%）増の11億36百万円となりました。

損益につきましては、精密成形品その他事業において、前期より新たに連結子会社となったPT.FUJI SEIKI INDONESIAの販売管理費等が増加したことなどにより、営業損失46百万円（前年同四半期は営業損失21百万円）、経常損失85百万円（前年同四半期は経常利益52百万円）、四半期純損失53百万円（前年同四半期は四半期純利益47百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

<射出成形用精密金型及び成形システム事業>

家電用精密金型が増加したものの、医療機器用成形システム及び光学機器用精密金型等が減少したことなどにより、当セグメントの売上高は、3億75百万円（前年同四半期比23.7%減）となり、営業損失18百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）となりました。

<精密成形品その他事業>

自動車部品用成形品等が増加したことなどにより、当セグメントの売上高は、7億61百万円（前年同四半期比25.6%増）となり、営業損失27百万円（前年同四半期は営業利益0百万円）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は0百万円であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,720,000
計	23,720,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年5月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,054,000	9,054,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,054,000	9,054,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年1月1日～ 平成26年3月31日	250,000	9,054,000	12,586	1,034,180	12,586	85,588

(注)新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

(平成25年12月31日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 544,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,259,200	82,592	-
単元未満株式	普通株式 600	-	-
発行済株式総数	8,804,000	-	-
総株主の議決権	-	82,592	-

【自己株式等】

(平成25年12月31日現在)

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
不二精機株式会社	大阪市生野区巽東四丁目4番37号	544,200	-	544,200	6.18
計	-	544,200	-	544,200	6.18

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	883,703	906,136
受取手形及び売掛金	1,086,744	994,232
製品	273,193	358,037
仕掛品	295,910	356,872
原材料及び貯蔵品	98,255	110,249
未収入金	303,549	252,503
繰延税金資産	43,892	34,831
その他	76,034	90,308
貸倒引当金	4,600	4,500
流動資産合計	3,056,684	3,098,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,039,769	982,701
機械装置及び運搬具(純額)	834,082	785,470
土地	543,445	447,035
リース資産(純額)	123,171	120,575
建設仮勘定	23,763	21,956
その他(純額)	261,202	304,287
有形固定資産合計	2,825,434	2,662,025
無形固定資産	73,745	72,570
投資その他の資産		
投資有価証券	64,954	62,743
繰延税金資産	8,962	10,021
その他	152,556	162,193
投資その他の資産合計	226,473	234,958
固定資産合計	3,125,653	2,969,555
繰延資産		
社債発行費	15,511	14,472
開業費	124,581	118,352
株式交付費	3,172	3,027
繰延資産合計	143,265	135,851
資産合計	6,325,603	6,204,078

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	640,688	687,050
短期借入金	1,907,584	1,969,660
1年内償還予定の社債	102,480	102,480
リース債務	20,993	21,912
未払金	151,020	137,062
未払法人税等	15,366	5,706
賞与引当金	53,619	52,696
製品保証引当金	17,263	16,529
その他	220,802	252,615
流動負債合計	3,129,818	3,245,713
固定負債		
社債	498,320	447,080
長期借入金	1,141,103	1,017,206
長期末払金	71	34
リース債務	100,722	96,076
繰延税金負債	30,157	29,056
退職給付引当金	3,987	4,770
役員退職慰労引当金	14,539	14,539
資産除去債務	17,832	18,348
固定負債合計	1,806,732	1,627,112
負債合計	4,936,550	4,872,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,021,593	1,034,180
資本剰余金	212,282	224,869
利益剰余金	77,760	24,077
自己株式	261,849	261,849
株主資本合計	1,049,787	1,021,277
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,102	6,713
繰延ヘッジ損益	140	470
為替換算調整勘定	331,130	302,042
その他の包括利益累計額合計	339,091	308,285
新株予約権	173	-
少数株主持分	-	1,690
純資産合計	1,389,052	1,331,253
負債純資産合計	6,325,603	6,204,078

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,098,335	1,136,454
売上原価	910,409	951,376
売上総利益	187,926	185,078
販売費及び一般管理費	209,227	232,025
営業損失()	21,301	46,946
営業外収益		
受取利息	586	468
為替差益	93,639	360
その他	710	1,435
営業外収益合計	94,935	2,264
営業外費用		
支払利息	16,868	17,964
社債発行費償却	901	1,039
開業費償却	-	6,229
和解金	-	9,900
その他	3,118	5,606
営業外費用合計	20,887	40,739
経常利益又は経常損失()	52,746	85,421
特別利益		
持分変動利益	-	1,470
固定資産売却益	575	43,046
投資有価証券売却益	950	-
特別利益合計	1,525	44,517
特別損失		
固定資産売却損	1,067	-
固定資産除却損	544	5
特別損失合計	1,611	5
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	52,660	40,909
法人税、住民税及び事業税	3,851	2,050
法人税等調整額	1,575	11,726
法人税等合計	5,426	13,776
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	47,234	54,686
少数株主損失()	-	1,003
四半期純利益又は四半期純損失()	47,234	53,683

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	47,234	54,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	418	1,389
繰延ヘッジ損益	224	329
為替換算調整勘定	176,841	28,983
その他の包括利益合計	177,485	30,702
四半期包括利益	224,719	85,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,719	84,489
少数株主に係る四半期包括利益	-	899

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
減価償却費	61,270千円	68,197千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	492,201	606,134	1,098,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	492,201	606,134	1,098,335
セグメント利益又はセグメント損失 ()	27,509	525	26,984

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	26,984
セグメント間取引消去	5,683
四半期連結損益計算書の営業損失()	21,301

当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	375,433	761,020	1,136,454
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,164	-	4,164
計	379,598	761,020	1,140,619
セグメント損失()	18,540	27,641	46,182

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	46,182
セグメント間取引消去	764
四半期連結損益計算書の営業損失()	46,946

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	6円94銭	6円36銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	47,234	53,683
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	47,234	53,683
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,809	8,447

(注)前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 5月13日

不二精機株式会社

取締役会 御中

仰星監査法人

代表社員 公認会計士 高田 篤 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 里見 優 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二精機株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二精機株式会社及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。